理研会報

発行
印旛支部理科研究部
事務局
成田市 成田950 内
成田小学校

全国教研へ桜井先生を送るにあたって

副部長　牛島竹利

このたび全国教育研究大会に千葉県代表として、佐倉中学校の桜井静子先生がえらばれたことは、われわれ印旛理科教育研究部としてまことによろこばしいことです。当理科研究部としてはこれで全国集会に四人目の代表を送ることになりました。

桜井教諭は佐倉中在職五年、理科に対して非常に研究心が強く、熱意をかたむけて研究を進めて来ました、特に生徒の思考力を育てる学習指導について努力している実践者であります。さむざむとした理科準備室で、ひとりで自分の指導をテープにとり、やおそくまで教案とにらみ合っていた先生の姿は忘れられないものとなって居ります。又それと同時に佐倉中の理科研究グループの研究体勢に非常に強い結束があり、今日の桜井教諭を育てあげた大きな原動力となっていると思います。一つの研究、一個人の研究を仲間の共通の問題として、協同研究し、お互いの練磨により研究していく姿が如何に大切であるかを痛感しています。われわれは桜井教諭の全国大会での活動を期待し、その成功を祈りつつ、責重な研究の上に、しっかりした足場を作り、継続的な研究と幅の広い仲間作りと結束、又お互いの練磨を通して印旛理科教育の発展に努力を続けていきたいと思います。

―実践の積み重ねを―
県教研集会に参加して

佐倉中　桜井静子
布鎌中　斉藤　浩

菊花薫る十一月十三、十四の両日、第十五次県教研大会集会がもたれましたが、今年度印旛郡市代表として私達二名が参加させていただきました。その折の研究概要の報告をいたし、感想を二三述べたいと思います。

小学校分散会（概要報告書より）

「討議の在は大別すると「新しい視点から教材内容をどのように系統的に捉えるか」ということと「理科学習指導をどういうポイントへレディネスや認識と順次性、教材の類型化、統一化、資料環境の整備等）で改善する」という二つに区分することができる。

前者については長生の「構造化」「生徒の思考の前進を適確におさえた指導法を考える点にまだ弱さがみられた。

このため子どもの認識の誤りの追求研究がもっとなされねばならない。

五、教具の工夫、環境整備については教材の内容の系統化に結びつく傾向がまだはっきりでていなかった。

六、砂丘植物教材についての教科書の説明に疑問を持ち、誤りを正した発表は新しい傾向である。

以上が講師団による本年度教研の概要ですが、参加して強く感じたことは、組織的に研究を重ねている地域の発表には厚みがあり深まりを感ずるということです。全国教研を足場にまた次年度研究の方針を年度はじめに立て総力を結集して地味な実践を積み上げていくという構えが私達の指導内容をたかめる大切な要因となるように思います。

教研が一部の教師の精神的・肉体的負担、もしくは一部の者への悪意となってはならないと強く思うわけです。乏しい力を巻機に支えられて出席いたしましたが、さてこの使命をいつの日、どんな時に皆様にまた還元していけるかと考えます。それにつけても本文の書けますことをうれしく思います。

難かしいことを論ずる場としての教研でなく、私達の日頃の実践を皆で話し合い、互いにたかめあう場としての教研、それが年生連続して積み上げられていくものであることを切に思うわけです。

ふるわなかった県科学工夫展

十一月二十五日冷雨の降る日、県理科センターで受賞式が行われましたが、昨年までの好成績に比べ本年度の本支部内からの出品作品の成績はあまりかんばしくなく銅賞二点、佳作五点にとどまりました。しかし自作教具の部では佐倉中理科研究部の「反応検出器」が銀賞に入賞しました。入賞者は次の通りです

銅賞　機からみる風向計　六合小3年　斉藤修一
〃　こん虫の変り方　本埜小4年　本川健蔵　宮島

佳作　ロボット　実籾小1年　竹岡正隆
〃　ビニール袋の空気ポンプ　六合小　斉藤　真
〃　調節代用電灯　四街道小3年　矢作敏夫
〃　液圧計　佐倉中1年　市原　正
〃　糸巻ケース　南部中2年　浅羽実川

自作教具の部
銀賞　反応検出器　佐倉中理科研究部

風信

○全国教研へ桜井先生ご活躍を期待いたします。
四十一年一月十四日―十七日
福島市

○県理科研究発表会
十二月二日　理科センター
本研究部より酒々井中　鳳野綾子先生発表「ものの見方、考え方を育てるための学習指導について生物教材の一考察」

○県科学教育研究会より成田小理科クラブ・優良クラブとして表彰（十一月二十五日）

十二月の花作業

上旬
温室暖房はじめ
アイリスの水耕栽培

中旬
キクの芽分け

観察

。霜よけをしてある草花のようす
。温室の中の植物と露地の植物の比較
。冬をこす虫のようす
モンシロチョウ、アゲハのさなぎなど　カマキリ、オビカレハの卵、イラガのまゆ、ミノムシ
。池の中の魚のようす
。すんだ池の水
。冬の木の芽
。地面にぴったりと葉をつけた冬ごしの草
。水耕栽培の球根の根ののび方

編集後記

○県展、郡展とすんでひとまずホッとしました。各位のご協力あればどうございました。
○不振だった科学展、来年度は早目に研究をはじめたいもの。
○本号は教研を中心にしました。次号は研究学校（朝陽小）のようすを。
○理研会報に、研究報告、ご意見など沢山お寄せ下さい。